

## 運動会の舞台をつくる係活動

運動会を運営するために教職員だけでは手が回らない。そこで児童（主に高学年）の係を決める必要がある。児童係は、「自分達で運動会をつくり上げる」という自主性を養うことができる。そのためには、前もって教職員が係ごとの計画表を作成する。子どもが混乱しないシステムを作るのである。

### 1 係分担を提案する。

- ①各学年の人数を割り振る。人数は昨年度の反省などを踏まえて決める。
- ②各学年で男女が均一になるようにする。
- ③各担当のリーダー（教職員）を決める。主に昨年度かかわった人にする。

	5-1	5-2	5-3	6-1	6-2	6-3	4年生	合計	集合場所
出発	1	1	1	2	2	2		9	4-1
決勝審判	5	6	5	6	6	6		34	2-4
用具	5	5	5	5	5	5		30	4-3
放送	2	2	2	2	2	2		12	5-3
記録	4	4	4	5	5	5		27	2-3
救護	1	1	1	1	1	1		6	保健室
応援	6	6	6	8	8	8	各6人ずつ	60	6-3
出場整理	3	3	3	4	4	4		21	5-1
受付	1	1	1	1	1	1		6	視聴覚室
児童席	3	3	3	4	4	4		21	1-1
合計	31	32	31	38	38	38			

### 2 仕事内容を明記した提案を出す。

係	前日(9/26)までの仕事	前日(9/26)の仕事	当日朝の仕事	運動会中の仕事	児童数 (5年6年)	担当
総務	・運動会全体の運営	・立て看板準備 ・旗懸架定の埋め外す	・立て看板設置 ②立て看板設置補助	・来賓の対応 ・審入場かけこの進行 ・全体指示 (いす出し、お便り 片付けの放送)	0 0	事務員
出発	・ピストル、雷管準備 ・出発方法の視察 ・ポートボール室の花作り (春色ミロ罐ずつ) 花作り	・本番所設置 (雷管室・銃台) 非電線(イースト) ・ライン引き ・通路打ち ロープ張り	・出発用具の準備 ・児童者の確認 ②万国旗設置補助 ②ポートボール室設置	・旗懸の出発合図	3 4	
決勝審判	・審判方法の確認 ・決勝用具の準備 ・器具使用禁止の張り紙準備	・万国旗準備 ・決勝用具の確認 ・固定施設にすざらんテープを巻きつけ、使用開始	・決勝用具を用具室へ運ぶ (審判旗、審判旗台、ピストル、ゴールテープ) ②万国旗設置補助	・決勝判定 ・児童の整理、退場指導	21 21	

高学年 2時間 準備物なし

- ①前日までの仕事・前日の仕事・運動会当日の仕事を明記する。
- ②雨天時用の計画も立てておく。(準備期間で雨がふったときの仕事も考えておく。)
- ③いつ、何を、誰がするのかを明記しておく。教職員と子どもの仕事を分ける。

### 3 例として用具係のシステム化

用具は各学年で使用するものや、競技の場を設定しなければならない。そのために**用具一覧表**を作成する。各種目で必要な用具を子どもたちが自分で準備できるようにする。事前に校庭で、用具の出し入れの練習をする。教師は子どもの動きを評価する。(〇年生〇秒!はやい!)

《用具係一覧表》

NO	準備	担当	配置図
① ころがせ 送れ	大玉 (赤白) ポートボール台 赤2 白2 決勝旗 審判用赤白旗 カラーコーン 8個	A	
② 80M走りたい	等賞旗 (1位～4位) ゴールテープ	B	

用具の保管場所を掲示する。常に整頓される。

### 4 来年度に必要なものを購入する

運動会が終わったら係ごとの反省を行う。来年度必要なものを購入しておく。その場主義で仕事を進めることで来年度もスムーズに行うことができる。

	当日の仕事について	準備作業・片づけについて	その他 来年度への要望・引き継ぎ	道具片付け場所
出発 審判	①「よーい」の仕方について指導をする。 ②ピストルとフライングの分担をはっきりさせる。 ③出発のスタートの確認をすること	①多くの方に手伝っていただき助かりました。	①ポートボール台の花の数は、1台につき20個(養生で貼る)3色の場合は21個。 ②記録の立て看板の花付けを出発にしてもよい。 ③立て看板の裏は透明紙などで隠すとよい。 ④雷管の注文は早めにする。	①くい ロープ 体育倉庫横倉庫 ②雷管 男子更衣室
決勝 審判	・最低4人は教員と本部の先生を入れてほしいという要望	・万国旗がはずれないようにする。 一度ロープに巻きつけてからきつ	・決勝テープはゴム等の伸縮するものを用意し、走る児童の足等のからまな	・万国旗の旗とロープ ・等賞旗、等賞旗のポール